

「語り部バス」大賞に輝く

ジャパン・ツーリズム・アワード

南三陸ホテル観洋の取り組み

宮城県南三陸町の南三陸ホテル観洋が、東日本大震災の記憶を語り継ぐことを目的に続けてきた「語り部バス」の取り組みが、このほど「第3回ジャパン・ツーリズム・アワード」で大賞に輝いた。

同賞は日本観光振興協会、日本旅行業協会、日本政府観光局が主催する世界

最大級の旅の祭典「ツーリズムEXPOジャパン」の一環で、国内外の団体・組織・企業の観光に関する優れた取り組みを表彰する。

本年度のテーマは「持続可能な観光による社会の発展の実現」。全国からこれ

までで最多の239件の応募があった。同ホテルは「震災を風化させないため

号や道路が使えなかったため、ホテルのスタッフが道案内をしながら被害状況を説明したのがきっかけだ。

わかみの阿部憲子さんは「千年に一度といわれる震災は、千年に一度の学び。今回の津波でも親からの教えを守り、安全な場所まで逃げて生き延びた人がいた。この経験を生かして、後世に語り継がなければならぬ」と力を込める。

の語り部バス』による地域交流活性化の取り組み」として応募した。

語り部バスは震災があった2011年の秋に本格始動し、これまで約30万人を案内した。

語り部バスは毎日午前8時45分から1時間ほど運行し、戸倉小・中学校、高野会館、防災対策庁舎を巡る。料金は大人500円、小学生以下250円。1歳以下は無料。1人から予約できる。



9月21日に行われた「第3回ジャパン・ツーリズム・アワード」の表彰式

震災の影響で信

連絡先は同ホテル0226(46)2442。